

2 チョウの体のつくり

教師用指導例

3年 大日版 p.16～17

問題 チョウの成虫の体はどんなつくりだろうか。

【学習指導要領との関連】 内容 B 生命・地球

(1) 昆虫と植物

ア 昆虫の育ち方には一定の順序があり、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。

【必要なもの】

画用紙 各1枚 マジック 各1本 磁石（黒板掲示用）

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 問題を見つける

- 指示1 アリの絵を上から見たところを絵に書きます。ノートに書けたら先生に持ってきます。
※映像の授業では、市販ノートと理科学習ノートを併用しています。
※理科学習ノートの「じゅうノート」を利用することもできます。
- 指示2 いま書いた絵を修正しないで、画用紙に大きく書きます。
※ノートを持ってきた子から、画用紙に書かせる。マジックでなるべく大きく、太く書かせる。
※画用紙に書けたら、黒板に貼らせる。
※絵の上に番号を板書する。

2 問題を追究する

- 発問1 この中に、昆虫として明らかに間違っているものがありますか。班の形になって相談します。
- 指示2 昆虫として「これは違う」というものを決めたら、番号とその理由をノートに書きなさい。
- 発問2 「これだけは違う」と思うものはどれですか。1班さんから番号を言いましょう。
※2班、3班…と順に、言わせていく。

3 討論する

- 指示3 発表された番号の昆虫はなぜ違うのか。理由を発表してごらんなさい。
※発表された理由に賛成・反対を確認し、話し合わせる。
※足の数(6本)、触覚の有無(有)、体がいくつに分かれているか(頭・胸・腹の3つ)、足はどこについているか(胸)等、昆虫の体のつくりに着目させる。

4 異なる考えを認める (※知識の確認)

- 指示4 理科学習ノートの16ページを開きます。「チョウの体のつくり」。
- 指示5 【もんだい】「せい虫の体は、どんなつくりだろうか」をなぞりなさい。終わったら鉛筆を置きます。
- 発問3 【よそう】「せい虫の体のつくりはどれですか。」㊶㊵㊴から選んで、体の線をなぞりなさい。
- 発問4 足はどこから出ていますか？(頭・むね・はら)
- 説明1 足は全部胸から出ていますね。

- 指示6 【かんさつ④】「体のつくり」で「頭」、「むね」、「はら」という文字をなぞりなさい。
- 説明2 体のつくりをたしかめて、チェックをしていきます。
- 発問5 目はどこについていますか。チェックを入れなさい。
※同様に触覚、羽、足にもチェックを入れる。
※もう1度黒板に貼った絵を確認し、正しいか正しくないかを判断させる。

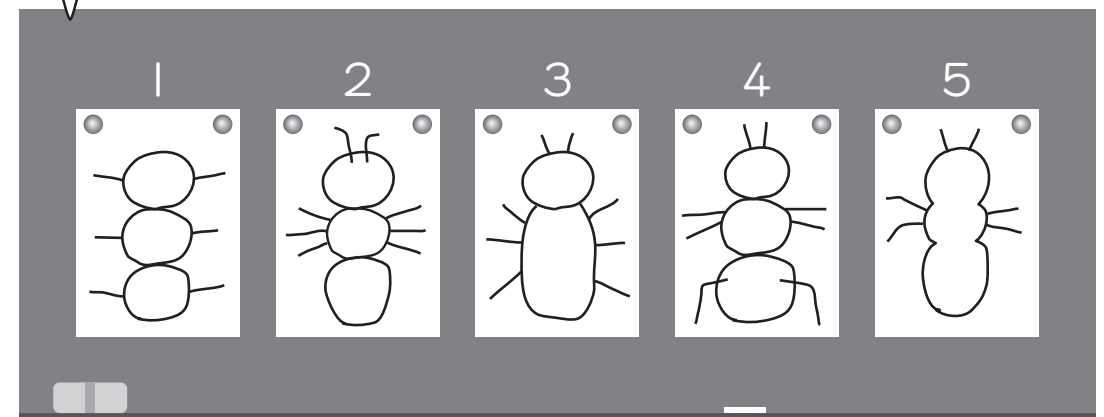
5 まとめる

- 発問6 昆虫の体はどんなつくりでしょうか。【じゅうノート】にわかったことをまとめていきます。自分の言葉で3つ、まとめなさい。
※書いた内容を発表させていく。「体は頭、むね、はらの3つの部分からできている。」「足がむねに
※6本ついている」「はねは、むねについている。」「目やしょっかくは頭についている」…などがおさ
えられるとよい。

【さらに…討論が巻き起こるアクティブ・ラーニング発問例】

- 発問1 トンボの成虫の体は、どんなつくりですか。絵に書きましょう。
※理科学習ノートの20ページを見て、答え合わせができます。
- 発問2 カブトムシの足は絵のどこについていますか。足を書きましょう。
※【カブトムシの足をかこう】(別紙PDF①)をご活用ください。
答えは【カブトムシの体のつくり】(別紙PDF②)で確認できます。

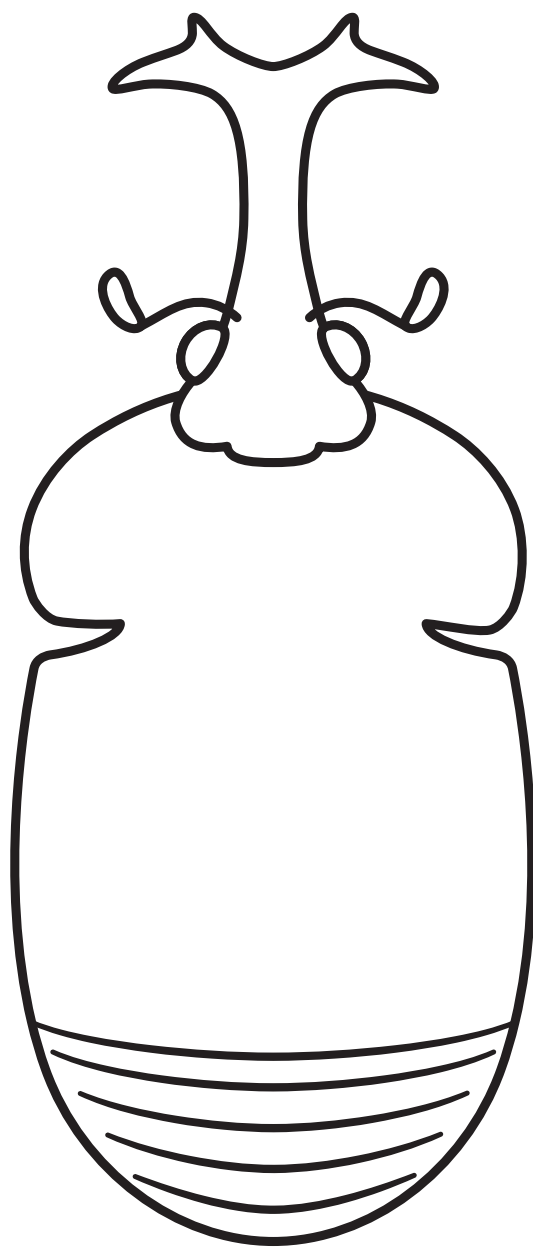
板書の例



①



カブトムシの足をかこう！



②

カブトムシの体のつくり

